

東京湾と高雄港の国際歴史比較シンポジウム

高雄市政府工務局
正改區市雄高
圖正改區市雄高
一丈分十六尺縮

浅野総一郎がつないだ 日本と台湾の絆

東京湾と高雄港の築港史を各国の専門家と
港湾関係者でひも解く国際共同研究の試み

プログラム

趣旨説明：「浅野総一郎と後藤新平がつないだ二つの港の絆」

伏見岳人（東北大学公共政策大学院長）

基調講演：「高雄港の百年にわたる発展と変遷」

王 御風（国立高雄科技大学副教授）

通訳 阿部沙織（拓殖大学外国語学部准教授）

報告1：「『高雄港の娘』とドクトル・マイヤース」

長谷部茂（拓殖大学国際日本文化研究所教授）

報告2：「高雄港の父」山形要助とその文書」

稲吉 晃（新潟大学人文社会科学系教授）

報告3：「近代高雄港の港湾施設と生産機能」

陳 雲蓮（群馬大学グローバルイニシアヴセンター講師）

討論・質疑応答



日時：2025年9月4日（木） 14:00～17:00

会場：拓殖大学国際教育会館（東京都文京区大塚 1-7-1）

3階 F301教室

定員：50名（ネットでの事前申し込み制。）

定員に達し次第、締め切らせていただきます。）

入場無料

事前申し込み制

参加申し込みは

右記のQRで

申込期限：2025年8月29日



共催：・2025年度日本港湾協会港湾関係研究奨励助成

「東京湾と高雄港の築港史に関する国際比較分析（研究代表者＊伏見岳人東北大学教授）」

・拓殖大学国際日本文化研究所